

獎 励 賞 (建築部門)

木の素材を活かして「和」を極める ～創エネ・省エネ・パッシブハウス～



所在地	川口市
構造・階数	木造 2階
敷地面積	282.04m ²
延床面積	129.32m ²
建築面積	104.47m ²
工事費	約4,100万円

居住者構成	65歳以上 2人
応募者	風間 健(株式会社 高砂建設)
設計者	株式会社 高砂建設
施工者	株式会社 高砂建設

獎 励 賞 (建築部門)

鳩ヶ谷 里の住宅



所在地	川口市
構造・階数	(在来)木造 2階
敷地面積	162.00m ²
延床面積	139.11m ²
建築面積	79.11m ²
工事費	約5,400万円

居住者構成	15歳以上65歳未満 4人
応募者	増井 真也(有限会社ますいいリビングカンパニー)
設計者	(有)ますいいリビングカンパニー
施工者	田村 和也

獎 励 賞 (建築部門)

ひだまりの家



所在地	春日部市	居住者構成	15歳未満2人、15歳以上65歳未満2人
構造・階数	木造 2階	合計4人	
敷地面積	125.98m ²	応募者	小玉 和彦(株式会社コダマホーム)
延床面積	103.37m ²	設計者	小玉 和彦
建築面積	58.79m ²	施工者	株式会社コダマホーム
工事費	約3,000万円		

獎 励 賞 (建築部門)

両立する家



所 在 地	坂戸市
構造・階数	木造 2階
敷地面積	164.29m ²
延床面積	125.97m ²
建築面積	78.21m ²
工 事 費	約3,000万円

居住者構成	15歳未満2人、15歳以上65歳未満2人
	合計4人
応募者	吉田 亜希子(近藤建設 株式会社)
設計者	近藤建設 株式会社
施工者	近藤建設 株式会社

獎 励 賞

(建築部門)

陽の光を コントロール する家

奨励賞 (アイディア部門)

(アイディア部門)

ニュータウン再生

ニュータウン再生

～空き家土地、街の問題から街の名所へ～



世界の政治情勢 第二回 朝鮮半島の動向と韓日関係

- 空き家率に注目
建物が古く、中古賃貸としての併用性がない物件は、横積的に更地になるような制度を確立する。
例証の恐れのあるコンクリートブロックが地震などで近隣住民がブロック下敷きになるなど、近隣住民の安全確保の観点からも、道路境界付近の家の撤去を積極的に行う。
 - 沿道緑化
空き家土地のコンクリートブロックを撤去し、緑化する。
所持して道路境界付近を緑化することで、固定資産税を20年間100%免除するなど、緑化することがベストな選択なるよう制度をつくる。
 - 空き家率と積極的に利活用(街活性化事業)
調査で空き家等を開拓したい方に奨励。地域活性化にも貢献する方に空き家土地を積極的に利活用していただき。
SNNSなどで「隣が最もいい街の名前街」や「おいしい箕面といい隣のコラボランチ」など、魅力を発信していく。

所在地	本庄市
構造・階数	木造 2階
敷地面積	734.43m ²
延床面積	157.33m ²
建築面積	103.51m ²

工事費	約3,800万円
居住者構成	15歳以上65歳未満 2人
応募者	株式会社 小林建設
設計者	株式会社 小林建設第一級建築設計事務所
施工者	株式会社 小林建設

底 著者 發智 良幸(近藤建設株式会社)



奨励賞 (アイディア部門)

獎 励 賞 (学生部門)

UP CYCLE de RENOVATION アップサイクルでリノベーション

UP CYCLE de RENOVATION

アップサイクルでリノベーション

埼玉県の産業廃棄物問題

埼玉県は東日本最大の建設廃棄物の発生地になると、「埼玉県の建設廃棄物は建設業者から出るものが最も多く、JIS-Lの二ヶ年最終処分率は、県内でも高く残っている」とある。このことから、建設廃棄物を減らしていくための手を貸すために、県は「資源回収」として建設廃棄物を資源化するための政策を実施。建設廃棄物を資源化するためには、それをどう活用するかが重要である。

建設廃棄物の問題を抱える中で、埼玉県では「UP CYCLE」という言葉が使われる。即ち、既存された資源のままで再利用されてしまう、それが、資源循環を図ることである。そのため、建設廃棄物以外で建設廃棄物と見なされてしまう場合は、全く別の問題に陥るところが大きな欠点である。

そのようにして、UP CYCLEという考え方で再利用されたものを使うことを選択する。

活動

埼玉県の建設廃棄物の「再生」で資源循環をめざす取り組み

<http://www.pref.saitama.lg.jp/saitama/renovate/>

埼玉県の「資源循環アカデミー」

<http://www.saitama-u.ac.jp/~akademy/>

埼玉県の「資源循環アカデミー」

<http://www.saitama-u.ac.jp/~akademy/>

RENOVATION と REFORM

老朽化した建物や、既存建築から生まれた資源循環が上位に位置する中で、中古のリサイクルマンションやリファームを中心とすることで、無効化の懸念される老朽化を回避することとなる。

UP CYCLE とは

老朽化した建物や既存建築から生まれた資源循環を元に、再生する。これが「資源循環アカデミー」とも何でもない。デザインハイツによっては既存の建物をそのままとしてそのまま使うことを前提とする。

例えば、既存の建物を改修的、廃材化修繕料をしてしまう場合などは、資源循環アカデミーが想定するといった差がある。

UP CYCLE と SDGs

SDGs(持続可能な開発目標)には、循環を守ることを掲げている。

SDGsの目標のうち、

目標①「より良い生活を実現、すべての人の幸福と行動をシフト」

のテーマを中心。

目標②「豊富な生物多様性の保全可能な資源及び生態系の持続可能性を達成する」

目標③「持続可能な開発のための公正、透明、再利用可能な資源の供給と需要を大幅に削減する」

など、UP CYCLEの核心の中には、資源循環を守ることを中心としたもの、豊富な生物多様性を守ることを中心としたもの、資源循環を守ることを中心とした公正、透明、再利用可能な資源の供給と需要を大幅に削減するなどがある。

また、UP CYCLEを行なうことはまた社会問題や企業問題にもつながる。

そこで、「資源循環アカデミー」は建設廃棄物や企業問題にもつながる。

そこで、「資源循環アカデミー」は建設廃棄物や企業問題にもつながる。

<http://www.saitama-u.ac.jp/~akademy/>

<http://www.saitama-u.ac.jp/~akademy/>

底 葵 章 吉春 希望(近藤建設株式会社)



暮 者 井藤 飛鳥(ものつくり大学)



— 応募作品 —

建築 部門

築50年我が家に光を 思い出残す3世代同居リノベ

応募者：LOHAS studio デザインチーム
(株式会社 OKUTA)

100年住宅を目指す。3世代で住まう家

応募者：LOHAS studio デザインチーム
(株式会社 OKUTA)

彩パッシブハウス 久喜の家

応募者：脇坂 隆洋 (昭栄建設 株式会社)

アイディア 部門

やがて自然に還る家

応募者：南 賢大 (近藤建設 株式会社)

少子高齢化社会で生きるコミュニティ住宅

応募者：野村 萌香 (株式会社 AQ Group)

自然と共に暮らす暮らし

応募者：上林真喜 (株式会社 AQ Group)

— 應募作品 —

桐の家

桐工場の伝統手工艺芸の1つとして登る
春日桐箪笥が掲げられる。

しかし、春日桐の歴史は減少しており、
現在は福島県会津地方の中心に
春日桐箪笥を製造している。

そこで埼玉県では流通しつづける
桐の身として住宅を考えることにした。

「桐の家」

1. 伝統性

—豊富な多い場合は複数。少ない場合は複数で
配置を行うことで、結果的に同じシリア対比が
可能となる。

2. 現代性

—床面積が広く、開口部の頻度を高める上にかかる

3. ユニコ

—伝統式で複数ある複数が桐の特徴より多く
「任用」に属する。

—桐の身として「光りに強い」
「伝統的美術・複数式に連携する」などの特徴がある

これらの特徴から桐で家を作ることがされば
青木色の住むことができるが最もともと、
桐の機能が活性化し、壁紙模様も即ちきら
と考えた。

また、桐五店の内の桐の殻が鳴ることにより
伝統手工艺品である春日桐箪笥の
音質に影響がある。

胸には鳴がつきやすい。変色しないといい
ダメージがあるが、しっかりとシアンカッシュ
を行うことで100年以上も堅い棗木でござできる。

何世代も桐の家を受け継ぐことで
環境への負荷をなくす。
青木色の暮らしを実現できるのではないか。03

【参考文献】

CHIBA, T.: 「桐」、西田編著、(2001), available from
<https://kemira.com/jp/cp/桐.html> [参照日: 2019年1月15日]

株式会社桐箪笥本舗、桐の魅力とウッドペイント、available from
<https://www.takemoto-piwa.jp/> [参照日: 2019年1月15日]

— 応募作品 —

学生 部 門

Court House ~光と風を誘う家~

Court House
～光と風を誇る家～

応募者：岩永 明士（埼玉県立春日部工業高等学校）

季節を感じられる家

季節を感じられる家

応募者：大久保 実海（埼玉県立春日部工業高等学校）

地域密着！ ユニバーサルデザインの家

地域密着！ ユニバーサルデザインの家

応募者：齊藤 陽太（埼玉県立春日部工業高等学校）

第10回埼玉県環境住宅賞の概要

埼玉県環境住宅賞とは

地球温暖化防止など、環境への負荷が少ない住まいづくり・住まい方をすすめるため、工夫やアイディアに富んだ住宅・住まい手を募集し表彰するものです。

主 催

埼玉県住まいづくり協議会

後 援

埼玉県

部 門	建 築 部 門	ア イ デ ィ ア 部 門	学 生 部 門
対象となる 住 宅・ 取 紐 組	県内に建築された環境にやさしく、居住性に優れた住宅 建築 平成19年1月1日～令和5年9月8日までの間に検査済証を受けた住宅 リフォーム 令和5年9月8日までにリフォームした住宅	CO ₂ の削減・省エネに関する住宅や住まい方のアイディア 住宅や住まい方でできるSDGsの取組の提案	環境に配慮した、省エネ・省CO ₂ の住宅や住まい方のアイディア（授業内課題や卒業設計も可） 住宅や住まい方でできるSDGsの取組の提案

審 査 委 員 (敬称略、五十音順)

委員長	中 村 勉	公益社団法人日本建築士会連合会 環境部会長
委 員	秋 元 智 子	認定NPO法人環境ネットワーク埼玉 事務局長
委 員	廣瀬 正 美	一般社団法人埼玉県建築士事務所協会 副会長
委 員	松 岡 大 介	ものつくり大学 建設学科 准教授
委 員	丸 岡 康 一 郎	一般社団法人埼玉建築士会 副会長



協賛企業

近藤建設株式会社

昭栄建設グループ^{SHOJO}

水と住まいのベストパートナー
TAIYO SYOKO

埼玉県住宅供給公社

住協/住協建設

高砂建設 藤島建設

一般財団法人
さいたま住宅検査センター

OKUTA LIXIL YKK ap

住宅金融支援機構

TOKYO GAS POLUS

発行：埼玉県住まいづくり協議会 ☎048-830-0033